平成２２年　４月３０日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長　殿

所　属　附属病院中央放射線部
氏　名　永澤　直樹

活動テーマ	乳がんマンモグラフィ検診受診率の向上と 検診結果共有ネットワーク普及のための活動
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日　～　平成 22 年 3 月 31 日
活動内容	乳がんは４０歳以上の女性がかかる癌の第１位であり、日本人女性の２０人に１人が罹患する癌です。ちょうど働き盛りの年代に起こるがんであり、もし、乳がんにかかって長期休職になると職場の業務にも影響を及ぼす社会的な側面もあります。しかしこの癌は早期発見を行うことで完全治癒が期待できます。早期発見にはマンモグラフィによる乳がん検診が有効であり、厚生労働省も検診受診率５０％を目指しています。 そこで､三重大学病院を筆頭に県内の医療機関の有志が集まって結成された「ＮＰＯ三重乳がん検診ネットワーク」と活動を行い、県民への乳がん検診受診率向上のための啓発活動や、医療従事者に対し技術の向上のための講習会を開催しました。また県内の医療機関（２８施設）をネットワークで結び、乳がん検診結果を一括管理する事が出来るシステムを用いて、県内どの医療機関で検診を受診しても過去の結果を加味した検診をうけることができるような環境を作り､維持管理を行いました。 様々な成果： ・乳がん検診受診率のアップ（47 都道府県中 45 位→27 位） ・乳がん検診啓発リーフレットの作成、配布（10,000 部） ・ネットワーク登録者の増加（H22 年 3 月末：85,000 人、三重県の乳がん検診人口の 7 人に 1 人） ・ 病院間でのマングラフィ画像遠隔送受信システムの構築 ・ 病院職員とその家族を対象とした乳がんマンモグラフィ検診（223 名受診、がん発見 1 名） ・県内医療従事者対象の『三重県デジタルマンモグラフィソフトコピー診断講習会』の開催（22 年 3 月 13 日開催 50 名、メッセウィングみえ） ・乳がん検診学会（21 年 11 月 5,6 日　京王プラザホテル札幌）にて活動報告（4 演題）｢三重乳がん検診ネットワークの活動報告：画像ネットワークによるデジタルマンモグラフィ遠隔読影システムの構築と運用｣｢三重県における乳がん検診の現状｣｢映画上映を組み合わせた乳がん検診啓発教育講演会の試み｣｢病院職員とその家族を対象とした乳がんマンモグラフィ検診の実施｣
継続希望の有無	有 本件は恒常的な活動が必須です。引き続きご援助いただきますよう、お願い申し上げます。